

かすみがうら市議会産業建設委員会会議録

---

平成30年11月26日 午後 1時51分 開 会

---

出 席 委 員

委員長	小座野 定 信
副委員長	佐 藤 文 雄
委 員	矢 口 龍 人
委 員	加 固 豊 治
委 員	来 栖 丈 治

---

欠 席 委 員

な し

委 員 外 委 員

な し

---

出 席 説 明 者

市長公室長	木 村 義 雄
都市産業部長	鈴 木 芳 明
建設部長	石 塚 洋 二
道路課長	大 山 俊 男
観光商工課長	根 本 和 幸

---

出 席 書 記 名

議 会 事 務 局 青 山 哲 士

---

## 議 事 日 程

平成30年11月26日（月曜日）午後 1時51分 開 会

### 1. 開会

### 2. 事件

- (1) 議案第74号 市道路線の認定について
- (2) 議案第75号 市道路線の認定について
- (3) 議案第76号 市道路線の変更について
- (4) その他（歩崎公園湖岸栈橋設置事業について）

---

開 会 午後 1時51分

#### ○小座野定信委員長

ご苦労さまでございます。

ただいまの出席委員は5名で会議の定足数に達しております。よって、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから産業建設委員会を開きます。

書記を指名します。議会事務局青山主任を指名します。

それでは、本日の委員会に付託されました議案第74号及び議案76号の審査に当たり、議案第75号について建設部長より説明したいとの申し出がありますので、これを許します。

建設部長 石塚洋二君。

#### ○建設部長（石塚洋二君）

ご苦労さまです。

市道路線の認定2件及び市道の変更1件につきまして、道路法8条第2項及び道路法10条第3項の規定によりご審議をいただくものですが、その前にお時間をいただきまして、ご説明事項がございます。

議案第75号の道路認定議案ですが、本件につきまして、平成2年当時の認定漏れ案件ということがわかりました。経過としましては、昭和62年開発行為により整備され、3年後の平成2年5月27日、当時の千代田村で移管登記が完了されました。本来であれば、その後、速やかに議会の議決をいただき、認定をするところですが、この手続が履行されず、今に至っているものでございます。

また、原因を確認したところ、内部のいわゆる連絡ミスと、2つの課でやっていたことによるものと思われま。

[小座野委員長「開発と土木だね」と呼ぶ]

#### ○建設部長（石塚洋二君）

はい、連絡ミスというものということがわかりました。

今後このようなことがないように対応を図りたいと思います。ご審議のほどよろしくお願いたします。

#### ○小座野定信委員長

ありがとうございました。

説明が終わりました。

それでは、これより現地調査を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

異議がないようですので、現地調査を早速行いたいと思います。  
ここで暫時休憩とします。

休 憩 午後 1時53分

---

再 開 午後 3時27分

○小座野定信委員長

会議を再開いたします。  
それでは、現地調査のほう大変ご苦労さまでございました。  
それでは、議案第74号 市道路線の認定についてを議題といたします。  
建設部から特に補足説明等はございませんか。  
石塚部長。

○建設部長（石塚洋二君）

お疲れさまでした。  
内容につきましては、現地において課長から説明のとおりであります。認定漏れ案件につきましては、今後このようなことがないように内部連絡を密にして対応を図りたいと思います。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○小座野定信委員長

ありがとうございました。  
それでは、質疑等ございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。  
[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

質疑を終結いたします。  
これより討論を行います。  
討論はございませんか。  
[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

討論を終結いたします。  
これより議案第74号を採決いたします。  
本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。  
[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ご異議なしと認めます。  
よって、本案は全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
次いで、議案第75号 市道路線の認定についてを議題といたします。  
建設部から特に補足説明等はございませんでしょうか。  
[石塚建設部長「はい、よろしく願いいたします」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

それでは、質疑等ございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。  
[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

質疑を終結いたします。  
これより討論を行います。  
討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

討論を終結いたします。  
これより議案第 75 号を採決いたします。  
本案は原案のとおり可決することにご異議等はありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ご異議なしと認め、よって、本案は全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
次に、議案第 76 号 市道路線の変更についてを議題といたします。  
建設部から特に補足説明等はありませんでしょうか。

[石塚建設部長「はい、よろしく願いいたします」と呼ぶ]

○小座野定信委員長

それでは、質疑等がございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

質疑を終結いたします。  
これより討論を行います。  
討論はございませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

討論を終結いたします。  
これより議案第 76 号を採決します。  
本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

ご異議なしと認めます。  
よって、本案は全会一致をもちまして原案のとおり可決すべきものと決しました。  
以上をもって本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。ご苦労さまでございました。

ここで以上でございますが、都市産業部から歩崎公園湖岸栈橋設置事業についてを説明したいとの申し出がございますので、入室を許可いたします。

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時30分

---

再 開 午後 3時31分

### ○小座野定信委員長

それでは、再開いたします。

では、歩崎公園湖岸栈橋設置事業につきまして説明を求めます。

都市産業部長 鈴木芳明君。

### ○都市産業部長（鈴木芳明君）

本日はご報告のお時間をいただきまして、まことにありがとうございます。

歩崎公園湖岸栈橋設置事業につきまして、5月に調査業務が完了しまして、現在設計業務を委託し、作業中でございますが、今後の整備予定を含めまして、観光商工課長、根本課長よりご報告を申し上げますので、よろしくお願いたします。

### ○小座野定信委員長

それでは、観光商工課長 根本和幸君。

### ○観光商工課長（根本和幸君）

それでは、歩崎公園の栈橋事業についてご説明をさせていただきます。

まず、栈橋整備の背景でございますが、歩崎公園周辺が体験型、滞在型観光を推進していくための公共施設が立地していることと、水辺へのアクセスが容易なことから、新たな観光、レジャー、スポーツ拠点の附帯施設として整備をすることにより、志戸崎地域はもとより、市の観光、スポーツ等の交流人口の拡大を目指し、移住定住策を促進するものでございます。

栈橋の活用計画でございますが、1番としまして、ラクスマリーナを発着するホワイトアイリス号の遊覧、こちらを利用してサイクルーズ等を予定をしています。

2番としまして、市内海洋クラブによるカヌーやヨットの体験教室の開催、3番としまして、市観光協会主催による地域振興事業の開催ということで、民間のプレジャーボートを利用して、湖上遊覧であるとか、Eボート大会の開催を予定しています。

4番としまして、大規模地震等発生時の広域的な被害や救援物資等の水運の発着場所として、5番としまして、水難事故等発生時における救命救助用の活動の場としてです。

あと、その他としまして、帆引き船の随伴船の乗船、湖上釣り大会、オープンカフェを開催する予定です。

これまでの測量の実施状況でございますが、ことしの1月24日にて実行しました栈橋設置調査等業務委託でございますが、こちらは湖底調査やボーリング等を実施してございます。

2番のほうは現在委託中でございますが、栈橋の基本設計及び実施設計を委託してございます。

工事の予定としましては、来年の9月に発注をしまして、32年の3月の完成を目指すものです。

すみません、1枚めくってもらって、図面のほうをごらんいただきたいと思います。

初めに、栈橋の本体部分ですが、水深を確保するために、堤防から15メートルの位置から総延長40メートルへ、幅員が3メートル、水面からの高さが50センチの栈橋となっております。形態としましては、13メートルのFRBモノコック栈橋を3個並べて連結する形状となります。また、栈橋本体の脇に長さ10メートル、幅5メートル、水面からの高さが20センチのステージ状のアルミセパレート栈橋を設置します。今回の栈橋は鋼管柱を湖底に打ち込み、その鋼管柱を栈橋本体で巻き込み、固定し、シツモクのローラーにより上下に稼働する浮き栈橋となっております。

また、栈橋へのアクセスとして、既存堤防から若干盛り土を行いまして、その上に延長7.7メートル、幅員2メートルの連絡通路と、延長16メートル、幅1.2メートルの連絡橋を設置します。この連

絡橋は栈橋を使用しないときや台風接近時など、つり上げ装置を利用して連絡橋の上げ下げが可能です。この栈橋ですが、帆引き船操業時に観光客が乗ります随伴船ですと、最大6そうまで接岸が可能です。今後この基本設計をベースとしまして、国土交通省霞ヶ浦河川事務所や関係機関との最終的な協議を行いまして、来年度中の完成を目指していきたいと考えています。

以上でございます。

#### ○小座野定信委員長

ありがとうございました。

それでは、質問等ございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。

佐藤副委員長。

#### ○佐藤文雄委員

一般質問でも話したけれども、イメージ図とこれの差というのはかなり違いがあると思うんだけど、特に観光船ですか、このラクスマリーナからホワイトアイリス号で遊覧するという、発着をするということになれば、湖底の深さの問題が出てくると思うんだよね。この深さの問題については解決するんですか、これで。

#### ○小座野定信委員長

根本課長。

#### ○観光商工課長（根本和幸君）

栈橋の一番沖側ですと水深が2.3メートルございます。ラクスマリーナですと1.8メートルが可能ということですので、その辺は大丈夫だというふうに思っています。

#### ○佐藤文雄委員

ということは、あのイメージ図は違っていたということですね。

#### ○小座野定信委員長

木村公室長 木村義雄君。

#### ○市長公室長（木村義雄君）

一般質問でも答弁させていただきましたように、あくまでもイメージ図、市の情報発信ということで、この先市政がどういうふうに動いていくか、あるいはどういうようなことを考えているかということを広く周知をするためのイメージ図で作成したものですから、今現状の話の中でお答えした中で、例えば波の強度により耐えられる強さ、あるいは台風時の強風にも耐えられる強さということを目指しておりますので、あくまでも今度の実施設計の基本の中で対応するというを考えていた次第であります。

#### ○小座野定信委員長

佐藤委員。

#### ○佐藤文雄委員

いずれにしても、あのイメージ図は全く違っていているというふうに見ざるを得ないじゃないですか。この絵を見ると、連絡橋をこうやって、そこに鋼管で浮き栈橋をぐっつけていくというイメージだけですよ。それからヨットをその栈橋にやるというイメージでもないですよ。これは真っすぐいだけでしょ。そういうことから言うと、もうかなりイメージとは大幅に違っていているというふうに言わざるを得ないんじゃないかなということをおっしゃただけです。

#### ○小座野定信委員長

イメージ図の場合は、これ調査測量する前の段階のあくまでもイメージであって、実際調査測量も

したら、波の強度とか、あと水深の関係とか、あと使用目的によってこういうスタイルが望ましいということに決着したのかな。どうでしょう、その辺、公室長。

○市長公室長（木村義雄君）

今、委員長がおっしゃったとおりなんです、前に設楽議員にもそのようにお答えをしております。イメージ図とあくまでも実施設計上の図はこれは異なる予定であるという旨の答弁させていただいておりますので、そこはご理解いただきたいと思います。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

志戸崎漁港と、この浮き桟橋の位置的關係というのはこの図面どおりですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

実はここに図面では右上になるんですが、水門がございまして、国交省のほうとちょっと協議をした中で、水門の側壁から10メートルは離すようにという指導がありましたので、この位置で決定をして、今後地元の漁師さん等で現場を確認をしていただいて、これで決定したいというふうに思っています。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

そうしますと、前の当初のお話だと、何センターでしたか、今ある建物は。

〔「交流センター」と呼ぶ者あり〕

○矢口龍人委員

交流センターから直接桟橋に出られるというようなイメージだったんだけど、今のおっしゃるあれだと、その樋門より、樋管よりも10メートルぐらい漁港寄りに寄るよということは、相当当初の計画よりはずれが生じているということによろしいんですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

交流センターのほうには霞ヶ浦工事事務所の水位計をカメラで撮っているのがありまして、ちょっとそこには桟橋はかけられないということですので。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

市で出しているイメージ図からいくと、あれはもうすんと船がだだあつと並んでいて、桟橋がどんとあそこからついているような状態だったんで……

○小座野定信委員長

それはあくまでもイメージを図示しただけであって。

矢口委員。

○矢口龍人委員

いや、委員長に聞いているわけじゃない。だから、それとは違いますよねという話ですよ。

[「場所が変わった」と呼ぶ者あり]

○矢口龍人委員

イメージと違うねということ。

○小座野定信委員長

木村公室長。

○市長公室長（木村義雄君）

あくまでもイメージは先ほどお答えしたとおりで、先ほど言ったように、霞ヶ浦の水位をはかっている定点カメラのうち、あるいは先ほど課長から言いましたように、あくまでも水深、それから漁協との関係、漁港とのある意味の距離をとるしかないものですから、そこにいろんな構造令とかをクリアしながら設置ができたのがこの図面どおりでありますので、あくまでもそこはイメージはイメージ図で捉えていただきたいなというふうに思います。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

それで、ホワイトアイリス号の話、さっき出てましたけれども、この志戸崎漁港にはホワイトアイリス号は入ってきているんですよ、今もね。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

以前は来ていたんですが、昨年10月に、今までどおり船をつけたんですが、ここで船のスクリューが損傷をしまして、今は来てないような状況です。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

そうすると、河床の問題になるのかなと思うんだけど、スクリューが破損するというのは。そうすると、当然今おっしゃったように、この新しい栈橋のところにホワイトアイリス号が来るのには、当然その経路をしゅんせつも必要だと思うんだけど、その辺の調査はどうなっているんですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

先ほど申したとおり、質問にお答えしたように、2.3メートルの水深がとれますので、ホワイトアイリス号が1.8メートルあれば入れるということですので、50センチの余裕があるということで、ここには泊められるということで認識しております。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

いやいや、そういうしゅんせつはしなくても大丈夫なんですかということですよ。今のこの何もやらない状態で調査は全て完了しているんだろうから、そういった意味でもう水深は確保できてますか

ら心配ありませんよというようなことでよろしいんですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

矢口委員がおっしゃるとおりで、しゅんせつは考えておりません。

○小座野定信委員長

加固委員。

○加固豊治委員

事前に今この位置図はわかったんですが、ボーリング2カ所やりましたよね。あの時点であの辺というのは位置は決まっているんですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

あのときは幅は50メートルで測量をするということで、この位置は決定はしてなかったんですが、大体ボーリングの位置に来ているというふうにしております。

○小座野定信委員長

加固委員。

○加固豊治委員

鋼管を5本打つようになっているんですけれども、設計だから何メートルのとかというのはまだそこまではいってない。もしわかれば。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

ボーリングの結果で支持層が湖底16メートルのところにあるということがわかっておりますので、その支持層まではくいを打ちたいと思いますが、全体的な長さはまだ出ておりません。

〔「はい、わかりました」と呼ぶ者あり〕

○小座野定信委員長

来栖委員。

○来栖丈治委員

今のことと関連するんですけれども、この表の中では岩盤が40メートルぐらい下にあるということで、そこにくいが入るような感じに書かれていて……

〔「違うよ」と呼ぶ者あり〕

○来栖丈治委員

4メートルですか。

〔「長さが40メートル」「深さじゃないよ」と呼ぶ者あり〕

○来栖丈治委員

そうすると、どの程度くいが入って……

〔「今質問したじゃない」「今言いました」「13メートル」と呼ぶ者あり〕

○来栖丈治委員

じゃ、失礼しました。

[「支持層まで打ち込むと」「そのためのボーリングをする」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

このアルミセパレート栈橋という水深今 20 センチと言いましたけれども、カヤックとかカヌーなようにこういうのを追加するということですか。

○小座野定信委員長

根本課長。

○観光商工課長（根本和幸君）

矢口委員がおっしゃるように、こちらの高さが 20 センチしかないので、カヌーとかカヤックを利用するにはこちらの低いほうから。随伴船なんかは水面から 60 センチぐらいなんで、こちらの 50 センチのほうの 40 メートルのほうの栈橋から乗っていただく想定でございます。

○小座野定信委員長

ここでカヌーできるんでしょう、こっちから乗って。

○矢口龍人委員

ここもできる。

○小座野定信委員長

いや、できるよ。だけど、初心者の人らはここでできるようにわざわざこっちに出して、危なくなないようにつくっているわけ。

○矢口龍人委員

なるほど、すばらしい。

○小座野定信委員長

だから、夢のある質問を、前向きな質問をお願いいたします。

市長公室長。

○市長公室長（木村義雄君）

当時のお話というか、説明を先ほどいたしました、どうしても霞ヶ浦では水が取水制限という制限をかけられることになってまして、それが 5 月から 10 月ということになっております。その間は水をいじくるような工事もできないということもありますので、それ以降に工事を発注して施工に入る、工程に入っていくということで考えておりますので、あわせてそこを補足的にご説明をさせていただきました。

○小座野定信委員長

矢口委員。

○矢口龍人委員

今もそういうお話でしょうけれども、水位の問題なんですけれども、1 年中同じ水位ではないと思うんですけれども、やはり渇水期とかそういうような時期もあると思うんですが、その辺のところは浮き栈橋だから水位が下がれば落ちていく状況なんだろうけれども、どの程度の差があるんですか。

○小座野定信委員長

市長公室長。

○市長公室長（木村義雄君）

水深はほぼ今霞ヶ浦の水位というのは動いてない状況でもありまして、以前ですと渇水期にはうん

と水が低くなったり何かしていたんですが、今ほとんど2メートルから2メートル30ぐらいの水位でやっていますので、そんなイメージかなと思います。

○小座野定信委員長

ほかにごいませんか。

では、ないようですので、ここで質問は終わりにしたいと思います。

事務局の執行部の方は大変ありがとうございました。

(執行部退席)

○小座野定信委員長

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時48分

---

再 開 午後 3時49分

○小座野定信委員長

再開します。

次に、閉会中の所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

お手元に閉会中の所管事務調査（案）を配付いたしてあります。

お諮りいたします。

本案のとおり、議長宛てに閉会中の所管事務調査について申し出ることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

それでは、そのように議長宛てに申し出させていただきます。

ほか、委員の皆様から何かございますでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小座野定信委員長

以上で産業建設委員会を散会といたします。

2年間ご苦労さまでございました。

散 会 午後 3時50分